

2 総 則

1. 趣旨

21世紀の国民スポーツの推進を図るにあたっては、国民の一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受することを通して、スポーツが主体的に望ましい社会の実現に貢献するという「スポーツ立国の実現」を目指していくことが重要である。

本大会は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、参加者がフェアプレー精神に基づきお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、スポーツのより一層の推進を図り、併せて生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 岩手県 公益財団法人岩手県体育協会

※各競技会については実施中央競技団体及び会場地市町が主催として加わる。

3. 主管

岩手県実施競技団体

4. 実施競技

水泳 サッカー テニス バレーボール バasketボール 自転車競技 ソフトテニス 軟式野球
ソフトボール バドミントン 空手道 ボウリング ゴルフ (13 競技)

5. 期日

令和4年9月22日(木)～26日(月) 5日間

※水泳競技は9月3日(土)～4日(日)、ゴルフ競技は9月7日(水)～9日(金)

6. 会場地

盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、遠野市、陸前高田市、釜石市、八幡平市、紫波町、
矢巾町、住田町、大槌町(9市4町、27会場)

7. 参加者

(1)大会の参加者は、監督及び選手、並びに大会役員、競技会役員、競技役員、運営係員とする。

(2)参加者は、日本在住者とし、参加資格、所属都道府県及び年齢制限は次のとおりとする。

①参加資格

ア 各競技の監督及び選手は、所属都道府県の当該競技団体会長が、代表と認め選抜した者であること。

イ 監督、選手の兼任は、同一競技内に限る。

ウ 前記の他、選手については次の通りとする。

Ⅰ. 参加選手は1人1競技とする。

Ⅱ. 予選を行う必要のある競技は、都道府県予選、ブロック予選に参加し、これを通過した者。

エ 第77回国民体育大会(実施中央競技団体が定める場合を除き都道府県予選会・ブロック大会を除く)に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2022に選手として参加することはできない。

オ 監督は、原則として日本スポーツ協会が別に定める「公認スポーツ指導者制度」に基づく、当該競技団体が定める公認資格を有する者とする。

②所属都道府県

所属都道府県は、実施中央競技団体が限定する場合を除き、次の 2ヶ所のいずれかを選択することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

なお、いずれの場合も本人が参加申込書又は手続きに必要な情報を当該都道府県競技団体へ提出した時点を基準とし、提出後に他の都道府県に転居等で移動した場合であっても当該年においては移動前の都道府県に所属するものとする。

③選手の年齢制限

ア 原則として、35 歳以上とし、競技ごとに別に定める。

イ 年齢の計算は、原則として令和 4 年 4 月 1 日を基準とする。年齢を区分する種目への参加選手の基準も同様とする。

④参加上の注意

ア 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。

イ 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。

ウ 大会参加者の大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

エ 参加者は、健康保険証を持参すること。

オ 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。

カ 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

⑤その他

ア 日韓スポーツ交流の韓国選手団が参加する。

イ 参加資格等に疑義が生じたときは、日本スポーツ協会及び当該中央競技団体が調査の上処分の必要性が認められる場合は別途定める「参加資格違反に関する処分基準」に基づき日本スポーツ協会において審議・処遇を決定する。

8. 参加申込方法

(1) 各都道府県又はブロックにおいて選抜された者を、都道府県競技団体会長が中央競技団体を通じて、日本スポーツ協会会長宛てに申込みものとする。なお、都道府県競技団体会長は、所属する都道府県体育・スポーツ協会にも申込書の控えを提出するものとする。

(2) 参加申込書は、所定の様式により作成し、定められた期限までに、日本スポーツ協会に送付する。

(3) 参加申込後に、選手を交代する場合は、速やかに所定の様式にて、参加申込と同様の要領で届けなければならない。

- (4) エントリーリスト・組合せは競技ごとの抽選会后、8月中旬頃から日本スポーツ協会もしくは実施中央競技団体のホームページにて掲載する。

9. 参加料

- (1) 参加料は、各都道府県競技団体が取りまとめの上、実施中央競技団体を通じて日本スポーツ協会に納入する。
- (2) 参加料の額は、選手1人5,000円とする。
なお、商業施設使用競技については、別途、施設負担金を徴収する(額は競技ごとに日本スポーツ協会が別に定める)。
- (3) 納入後の参加料は返金しない。
- (4) 地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

10. 表彰

- (1) 各競技の各種別、種目などの第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を授与する。
- (2) 原則として、各競技の各種別、種目などの第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。
- (3) 前号については、各競技の各種別、種目などの特性に応じて、実施中央競技団体が日本スポーツ協会と調整の上、別に基準を定めることができるものとする。

11. 宿泊及び交通

- (1) 参加者(監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員)の宿舎、交通の手配は、原則として日本スポーツ協会が指定する旅行会社に依頼することとする。
- (2) 詳細については、別に定める「宿泊・輸送・弁当に関する基本要領」に基づき行う。

12. 大会参加章の交付

日本スポーツ協会は、参加者の大会参加意識の啓発及び国民のスポーツ活動を一層推進するため、大会参加章を作成し、参加者(監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員)及び日本スポーツ協会が特に認めた者に交付する。

13. その他

- (1) 参加申込書及び参加料が定められた期限までに指定された場所に到着しない場合は、理由のいかんを問わず、本大会への参加を認めない。
- (2) 日韓スポーツ交流で参加する韓国選手団の参加資格、申込方法等については、別途定める。
- (3) その他の事項については、日本スポーツマスターズ開催基準要項による。
- (4) 大会の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、政府方針はじめ、公益財団法人日本スポーツ協会策定の「日本スポーツマスターズ開催における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針」、開催地版ガイドライン、競技別ガイドライン、業種別ガイドライン等を基に、大会運営に必要な対策を十分に講じた上で開催することとする。なお、感染拡大防止対策として個人の健康管理の記録としては、体調管理アプリケーション又は体調管理チェックシートを利用するものとし、使用する体調管理アプリケーション又は体調管理チェックシートで取得した個人情報については、大会への出場・参加・来場資格の確認および大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

日本スポーツマスターズ2022岩手大会
大会日程・会場一覧

令和4年7月15日現在

競技名		日程										会場	開催地
		9月											
		3	4	7	8	9	22	23	24	25	26		
⊕	⊖	水	木	金	木	金	⊕	⊖	月				
開会式(前夜祭)							△					盛岡グランドホテル	盛岡市
水泳	(男女)	●	◎									盛岡市立総合プール	盛岡市
サッカー	(男)								○		◎	遠野運動公園陸上競技場	遠野市
								○			○	遠野運動公園多目的運動場	
								○	○	○		遠野市国体記念公園市民サッカー場	
テニス	(男女)							●	○	○	◎	盛岡市立太田テニスコート	盛岡市
バレーボール	(男女)							●	○	○	◎	花巻市総合体育館	花巻市
	(男)							○	○			紫波町総合体育館	紫波町
	(女)							○	○	○		花巻市民体育館 石鳥谷体育館	花巻市
バスケットボール	(男女)							○	○	○	◎	盛岡タカヤアリーナ	盛岡市
	(男)							○	○	○		岩手県営体育館	
	(女)							○	○	○		盛岡体育館	
自転車競技[トラック]	(男女)							▲	●	◎		紫波自転車競技場	紫波町
ソフトテニス	(男女)								○	◎		和賀川グリーンパークテニスコート	北上市
軟式野球	(男)								●	○	◎	楽天イーグルス奇跡の一本松球場	陸前高田市
									●	○	◎	釜石市平田総合公園野球場	釜石市
									●			大船渡市営球場	大船渡市
									●	○		住田町運動公園野球場	住田町
									●			大槌町営野球場	大槌町
									●	○		宮古運動公園野球場	宮古市
ソフトボール	(男女)							○	○	○	◎	石鳥谷ふれあい運動公園	花巻市
バドミントン	(男女)							●	○	◎		北上総合運動公園北上総合体育館	北上市
空手道	(男女)							●	○	◎		岩手県営武道館	盛岡市
ボウリング	(男女)							●	○	◎		盛岡スターレーン	盛岡市
ゴルフ	(男女)			▲	○	◎						安比高原ゴルフクラブ	八幡平市

9市4町 計27会場

△:開会式(前夜祭) ●:開始式後競技 ○:競技 ▲:公式練習 ◎:競技終了後表彰式

<開催市町> 盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、遠野市、陸前高田市、釜石市、八幡平市、
紫波町、矢巾町、住田町、大槌町

<1> 水 泳 競 技

SWIMMING

1. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 岩手県 公益財団法人岩手県体育協会
公益財団法人日本水泳連盟 盛岡市

2. 主 管 一般社団法人岩手県水泳連盟

3. 公 認 公益財団法人日本水泳連盟 一般社団法人日本マスターズ水泳協会

4. 期 日 令和4年9月3日(土)から9月4日(日)まで(2日間)

5. 会 場 盛岡市立総合プール 〒020-0866 盛岡市本宮5丁目3番地1

6. 競技方法

- (1) 全て、男女別、年齢区分別のタイムレース決勝とする。
- (2) (公財)日本水泳連盟競泳競技規則に準ずる。

7. 種目・年齢区分・競技順序・参加人員・リレー種目

(1) 競技種目

自由形：50m・100m 背泳ぎ：50m・100m 平泳ぎ：50m・100m バタフライ：50m・100m
個人メドレー：200m フリーリレー：200m メドレーリレー：200m
混合フリーリレー：200m 混合メドレーリレー：200m

※男子、女子及び年齢別共に同一種目とする。

(2) 年齢区分(男女共通)

① 個人種目(個人の暦年齢)	② リレー種目(泳者4名の暦年齢の合計)
1部(30歳～34歳)	120歳の部(120歳～159歳)
2部(35歳～39歳)	160歳の部(160歳～199歳)
3部(40歳～44歳)	200歳の部(200歳～239歳)
4部(45歳～49歳)	240歳の部(240歳～279歳)
5部(50歳～54歳)	280歳の部(280歳～296歳)
6部(55歳～59歳)	※リレーも74歳までとする
7部(60歳～64歳)	
8部(65歳～69歳)	
9部(70歳～74歳)	

(3) 競技順序(女・男9・8・7・6・5・4・3・2・1部の順)

第1日目(タイム決勝)

- 1 混 合 200mフリーリレー4×50m
- 2 女・男 200m個人メドレー
- 3 女・男 100m自由形
- 4 女・男 100m平泳ぎ
- 5 女・男 100mバタフライ
- 6 女・男 100m背泳ぎ
- 7 女・男 200mフリーリレー4×50m

第2日目(タイム決勝)

- 1 混 合 200mメドレーリレー4×50m
- 2 女・男 50m背泳ぎ
- 3 女・男 50mバタフライ
- 4 女・男 50m平泳ぎ
- 5 女・男 50m自由形
- 6 女・男 200mメドレーリレー4×50m

- (4) 参加人員
各都道府県からの代表選手数は当面制限しない。なお、個人の参加種目は1人3種目までとする(リレーは除く)。但し、監督(選手を兼務することができる)は1名とする。
- (5) リレー種目
- ① リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は74歳までとする。
 - ② リレー種目出場者は、同一リレー種目に二つ以上の年齢区分から出場できない。
 - ③ リレー種目は都道府県1チームのみとする。なお、これ以外はオープン参加とする。

8. 申込規定

- (1) 参加資格、年齢基準及び所属都道府県
選手は、(公財)日本水泳連盟(2022年度)又は(一社)日本マスターズ水泳協会登録完了者(2022年)で、下記に該当すること。
- ① 年齢基準は、2022年12月31日現在とする。
 - ② 所属する都道府県に在住又は在勤の者。
 - ③ 第77回国民体育大会水泳競技大会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。
- ※ 監督については、公認水泳コーチ1・2・3・4、公認水泳教師・上級教師の資格を有する者とする。(指導者資格は、(公財)日本スポーツ協会公認資格とする)
- (2) 参加料 1人5,000円(監督専任者を除く)
一度納入された参加料は返金しない。また、地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- (3) 申込方法
- ① 参加希望者は、所定の参加申込書に必要事項を記入し、都道府県水泳連盟(協会)に申し込む。
 - ② 都道府県水泳連盟(協会)は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出の上、(公財)日本スポーツ協会の「参加登録DB」と(公財)日本水泳連盟競技者登録システム(WebSWMSYS)から出力される「競技会申込書明細表」と「競技会申し込み(エントリー)データ一覧表」を3部作成し、令和4年7月15日(金)必着にて、1部を所属都道府県体育・スポーツ協会に、2部を(公財)日本水泳連盟に提出する。なお、参加料は都道府県水泳連盟(協会)が取りまとめて、(公財)日本水泳連盟指定口座へ振り込み、振込受領証コピーを(公財)日本水泳連盟に提出する。
※(公財)日本水泳連盟の大会ホームページからエントリー手順指示書(加盟団体用)を入手すること。
※申込用紙3部の他に、「競技会申込(エントリー)データ一覧表」の電子データをメールにて「(公財)日本水泳連盟・日本スポーツマスターズ2022大会係」へ送る。
 - ③ (公財)日本水泳連盟は、2部の参加申込書のうち1部を、令和4年7月29日(金)までに、(公財)日本スポーツ協会へ送付する。
 - ④ 参加申込後に選手を交代する場合には、所定の様式により上記①、②の参加申込を同様の要領にて届けなければならない。
- (4) その他
- ① 大会出場にあたり、所属名並記を希望する競技者は、所定の様式「競技者所属名称団体並記申請書」(HP掲載)を提出すること。なお、所属名並記は(公財)日本水泳連盟登録団体・選手登録者に限る。
 - ② (一社)日本マスターズ水泳協会の定めるマスターズ記録の公認は、大会申込時に2022年の(一社)日本マスターズ水泳協会の個人登録完了者に限る。ただし、記録の公認は個人種目のみとする。
 - ③ 「日本スポーツマスターズにおける救済(特別)措置について」を確認し、申告が必要な場合は、所定の様式「出場申告用紙」(HP掲載)を提出すること。

9. 水着等の制限

- (1) 競泳水着は FINA の公認した水着を着用すること。水着は 1 枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。また、テーピングや 2 次加工は禁止する。
- (2) 選手や役員が宣伝・広告の媒体とならないようにアリーナ内で着用・持ち込みする物を制限（水着・バッグ・シャツ等のマーク）している。
※ 水着規程の詳細は、(公財) 日本水泳連盟のホームページ「競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」の内容をよく読むこと。

10. 参加上の注意

- (1) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (2) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (3) 大会参加者の大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガを補償するため、(公財) 日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (4) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (5) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先(本人以外)を把握しておくこと。
- (6) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

11. 表彰・得点

- (1) 各種目の年齢区分ごとに、第 1 位から第 3 位までの者に記念品を授与する。また第 1 位から第 8 位までの者に、賞状を授与する。なお、同一都道府県で 3 名以上参加しているときは、上位 2 名までとする。
- (2) 男女合計得点により総合順位の第 1 位から第 8 位までの都道府県に賞状を授与する。なお、総合優勝都道府県には盾を授与する。また、男子及び女子の得点・順位を発表する。
 - ① 個人種目、リレー種目ともに 1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とする。
 - ② 合計得点は個人種目上位 2 名とリレー種目 1 チームの合計得点とする。
 - ③ 合計得点が同得点の場合は、次のとおりとする。
 - ・リレー得点の多い方
 - ・入賞者数の多い方（リレー種目は 4 と計算する）
 - ・1 位の数の多い方
 - ・以下 8 位までこれにならう
- (3) 本大会へ 10 年連続出場者及び 20 回出場者に記念品及び賞状を授与する。
 - ① 対象者は、(公財) 日本水泳連盟の所定の様式「日本スポーツマスターズ 10 年連続出場及び 20 回出場者表彰申請書（2022 年度）」(HP 掲載)に記入する。
 - ② 本大会監督者は、申請者の資格等確認の上、令和 4 年 7 月 15 日（金）までに (公財) 日本水泳連盟生涯スポーツ委員会「日本スポーツマスターズ 20 2 2 岩手大会・水泳競技会(10 年連続出場・20 回出場)」係に届けること。なお、当日レースを棄権した場合は連続出場表彰を取り消しとする。

12. 宿泊・交通申込について

(公財)日本水泳連盟は、(公財)日本スポーツ協会から配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県水泳連盟(協会)へ送付し、都道府県水泳連盟(協会)は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社各支店に提出する。

13. 会 議

(1) 資格審査・プログラム編成

日 時/令和4年8月1日(月) 午後1時～

会 場/JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 会議室

〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町4-2

(2) 監督会議

日 時/令和4年9月2日(金) 午後3時～

会 場/盛岡市総合アリーナ(盛岡タカヤアリーナ) 会議室

〒020-0866 盛岡市本宮5丁目4番地1

14. 大会情報

競技日程、組合せ等の確認は、(公財)日本水泳連盟のホームページに掲載する。

4 医療救護について

1. 会場でケガや発病をしたとき

会場に設けられた救護所で手当を受けてください。

(1) 救護所及び手当について

- ① 救護所には、医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが待機し、臨時の応急手当（救急処置）を行います。
- ② 医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが医療機関に搬送する必要を認められた時は、救急自動車等で医療機関に搬送します。
- ③ 救護所からの搬送等により医療機関で治療を受ける場合は、必ず健康保険証を提示してください。また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携帯してください。
※治療費用は受診者負担となります。

(2) その他

- ① 救護所の場所は、会場内において看板等により示しています。
- ② 会場内には、AED を設置しています。

2. 宿舎でケガや発病をしたとき

- ① 宿泊先に相談の上、医療機関に問合せをしてから受診してください。
また、大会時に発行する競技別プログラムにて、「夜間・休日急患センター」等の情報を掲載します。
- ② 医療機関で治療を受ける場合は、必ず健康保険証を提示してください。
また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携帯してください。
※治療費用は受診者負担となります。
※重症の場合や生命にかかわるような症状の場合は、救急車（119番）を要請してください。

3. 傷害保険の加入について

本大会では、日本スポーツ協会にて、選手・監督等の方を対象とした傷害保険に加入しています。

(1) 補償対象と手続きの流れ

大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、会場の救護所で臨時の応急手当（救急処置）を受け、救護所に配置された「救護台帳」に必要な事項の記入がなされた方が、原則として補償の対象になります。

補償の対象者として該当し得る方には、大会終了後約1ヶ月後を目処に日本スポーツ協会から具体的な手続きに必要な書類を送付します。

※大会期間中に救護所へ行かず、「救護台帳」への記入がなされなかった場合は、補償の対象とすることができない場合があります。

※「救護台帳」により取得した個人情報、本大会期間中の傷害事故における保険請求業務に使用す
る他、引受保険会社へ提供することがあります。

(2) 補償内容

補償内容	補償額
死亡保険金	3,000万円
後遺障害保険金	90万円～3,000万円 (程度に応じる)
入院保険金	3,600円
通院保険金	2,400円

※補償内容は参加区分により異なります。
(例) 選手・監督の場合(加入者1名につき)
※入院・通院保険は1日につき。
※いずれも事故の日からその日を含めて180日以内を支払い対象とする。
※入院保険は180日が限度、通院保険は90日が限度となる。